

## 普及活動情勢報告（令和2年12月分）

高吾農業改良普及所

### 集落営農法人が反省会を開催しました！



11月27日、佐川町の「（農）トピアとかの」が関係機関と今年の活動を振り返る反省会を開催しました。昨年設立した組織が今年初めて飼料米栽培（5.5ha）及びJAからの委託作業（田植、収穫、乾燥調整等）に取り組みました。飼料米の収穫実績は計画の93%に留まりましたが、全体の収支は黒字となる見込みです。代表理事からは「次年は面積が拡大するが、水稻ほ場管理や委託作業の打合せの徹底を図っていく」と意気込みが聞かれました。

普及所は組織の次年に向けた活動計画作成や飼料米栽培の技術支援等を関係機関と共に支援していきます。

### 佐川町で‘ゆめのか’の出荷がはじまる



佐川町でイチゴ‘ゆめのか’の収穫が始まり、JA佐川支所苺部会では12月9日に園巡りと目慣らし会が開催され生産者14名が参加しました。今年は秋口の低温で開花がやや遅れましたがその後天候に恵まれ持ち直し、大ぶりのイチゴが採れています。

普及所は園巡りでコナジラミ類対策を指導し、静電噴口の実演を行いました。生産者からは発生しているコナジラミの種類や噴口の性能について質問がありました。

今後も病害虫防除指導や草勢管理指導を行い、‘ゆめのか’の安定生産を支援していきます。

### 佐川町と仁淀川町の女性グループが郷土料理で交流



佐川町生活改善グループが「仁淀川地区農漁村女性グループ研究会と交流したい」という声きっかけで、11月27日に仁淀川町の体験交流施設「しもの郷」で両グループ員21名が参加して郷土料理交流会を開催しました。

事務局の農業改良普及所が双方の役員と打ち合わせて、当日は感染症対策を取り、運営を支援しました。仁淀川町のグループ員を講師に、「いりもち」と「こんにやく」を実習し、昼食後はお互いの活動を紹介しました。こんにやくの作り方の質問には講師が詳しく説明し、「作ってみたい」「また交流会をしたい」との声がありました。

農業改良普及所では、今後もグループの主体的な活動を支援します。

## ミシマサイコの栽培面積拡大に向け生産者説明会を開催しました



11月26日、越知町のヒューマンライフ土佐でミシマサイコの生産者説明会が開催され35名が参加しました。農業改良普及所からは発芽不良対策の実証結果と優良栽培事例の栽培技術の解説を行いました。

発芽不良対策では薬剤の種子粉衣の励行や播種時期を暖かい時期まで遅らせる提案を行いました。また、優良事例の栽培実績から、施肥、追肥、摘芯作業の励行を呼びかけました。これを受けヒューマンライフ土佐からは栽培面積拡大の呼びかけを行いました。参加者においては熱心に資料を読む姿が見られました。

農業改良普及所は今後もミシマサイコの栽培面積拡大に取り組んでいきます。